

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第126期中間連結会計期間（2024年12月1日～2025年5月31日）におけるわが国経済は、物価の上昇が続き、個人消費や設備投資が停滞している状況となっております。海外経済は

通商政策などアメリカの政策動向による影響が大きく、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況下、第126期中間連結会計期間における業績は、売上高134億24百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益2億82百万円（前年同期比18.3%減）、経常利益3億46百万円（前年同期比35.1%減）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、関係会社株式売却益の計上があったものの、前年同期に投資有価証券売却益を計上していた影響により、2億80百万円（前年同期比48.6%減）となりました。

当社は現在、長期的なありたい姿の実現に向けた具体的な課題の整理と取り組みの検討を実施し、次期中期経営計画（2026年度～2028年度）の策定を進めております。

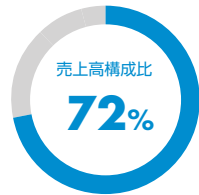
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらず格別のご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年7月

代表取締役社長 名倉 宏之

セグメントの状況

産業用機能フィルター・コンベア事業



売上高 **97億27百万円**（前年同期比 0.9%減）

営業利益 **4億33百万円**（前年同期比31.1%減）

売上高は前年同期並みとなりましたが、人件費や製造費の上昇により、営業利益は前年同期と比べ減少しました。

電子部材・フォトマスク事業



売上高 **21億63百万円**（前年同期比 2.6%増）

営業利益 **1億45百万円**（前年同期比42.0%減）

電子部品業界の一部分野の需要が軟調であったものの、売上高は前年同期比微増、営業利益はフォトマスク製品分野における減価償却費負担が増加し、前年同期と比べ減少しました。

環境・水処理関連事業

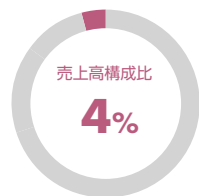


売上高 **10億18百万円**（前年同期比38.6%減）

営業損失 **35百万円**（前年同期営業損失 2億10百万円）

前期まで取り組んでいた不採算の大型案件の影響が無くなったことにより、営業損失は改善しました。

不動産賃貸事業



売上高 **5億15百万円**（前年同期比 0.4%減）

営業利益 **3億90百万円**（前年同期比 1.6%減）

既存の賃貸物件が順調に稼働した結果、売上高および営業利益は前年同期並みとなりました。

Topics

日本フィルコングループの事業展開

当社グループが展開する各事業は、創業当初からのメイン事業である「紙・パルプ抄造用網」の原理・性質を応用し、発展した事業です。今回は各事業展開の背景、つながりをご紹介します。

紙・パルプ抄造用網

紙は、木材（または古紙）と水・薬品から作られるパルプ液を、網の上で濾すことで作られます。古くは手漉きが主流でしたが、現代では「抄紙機」という機械で連続的に製造されています。当社では、その抄紙機で紙を抄くために使われる「紙・パルプ抄造用網」を製造しています。

この紙・パルプ抄造用網は、紙の品質を左右する重要な役割を担い、暮らしに欠かせない紙製品の生産を支えています。

コンベア（搬送）機能

紙の「透かし」技術の応用

フィルター（ろ過）機能

工業用金網

紙・パルプ抄造用網は現在はプラスチック製ですが、かつては金属製でした。網の用途拡大により、食品や建材、化学工場などで使用されるワイヤコンベヤーベルトなどの工業用金網に展開されました。現在は、子会社の関西金網（株）で製造・販売されています。



電子部材・フォトマスク

紙に透かしを入れる用具を製造する技術を応用して、電子部材の製造が始まりました。薬液で化学的に金属を加工するメタルエッチング加工を行い、製品に歪みやバリが発生しない高品質なエッチング製品や、半導体、プリント基板を製造する際の型であり、あらゆる電子部品の製造を支えるフォトマスク製品を製造しています。



水処理関連（プール・ろ過装置）

紙抄き（網目から水が落ちる）の技術を応用して、ろ過装置の製造が始まりました。現在は、子会社の（株）アクアプロダクトで、ろ過装置一体型プールをはじめとする高性能な水処理関連製品を製造・販売し、学校やレジャー施設、フィットネスクラブなど様々な施設・用途で使用されています。



株主様アンケート報告

2025年2月から3月にかけて実施した株主様アンケートでは、多くのご回答・ご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。お寄せいただいたご意見を一部抜粋してご紹介いたします。



工場見学会は、会社のことを知ることができる良い機会なので楽しみです。

ご評価いただきまして、ありがとうございます。当社は、2025年7月15日・16日に株主様向け工場見学会を実施いたしました。当社従業員・経営陣にとっても、普段お会いできない株主の皆様との貴重な対話の時間となりました。当日の様子については、別途ご紹介させていただきます。



今後のグローバル展開に期待しています。

当社は、国内外の19社の子会社と3社の関連会社からなる企業グループとして、グローバルな展開を加速させています。近年は、長年研究開発に取り組んできた不織布用製品の海外拡販などにも注力しております。今後も、国内外の市場ニーズを的確にとらえながら、グループ企業価値を向上させるべく努めてまいります。



連結貸借対照表

	当中間期末 2025年5月31日現在	前期末 2024年11月30日現在
流動資産	20,530	21,441
固定資産	22,120	21,778
負債	19,775	19,960
純資産	22,874	23,259
総資産	42,650	43,219

(注) 記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

	当中間期 (2024年12月1日から 2025年5月31日まで)	前中間期 (2023年12月1日から 2024年5月31日まで)
売上高	13,424	14,097
売上総利益	4,583	4,702
営業利益	282	346
経常利益	346	534
親会社株主に帰属する 中間純利益	280	545

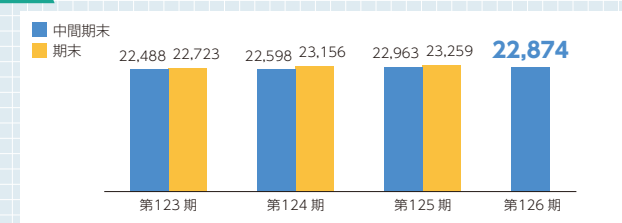
(注) 記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

	当中間期 (2024年12月1日から 2025年5月31日まで)	前中間期 (2023年12月1日から 2024年5月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,806	1,238
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,439	△343
財務活動による キャッシュ・フロー	△155	△104
現金及び現金同等物の 中間期末残高	5,026	5,202

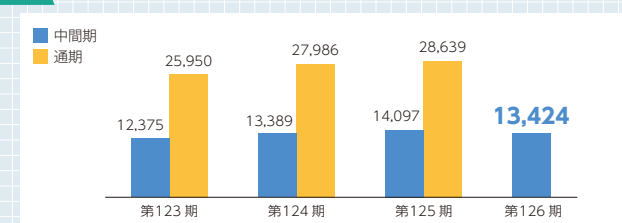
(注) 記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

1 純資産 (単位：百万円)



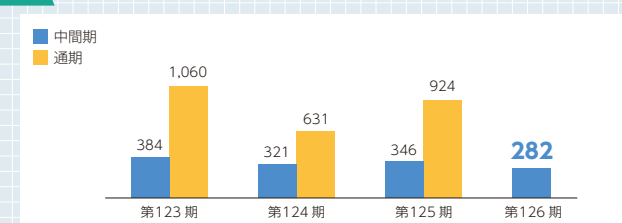
POINT
純資産合計は、前期末に比べて3億84百万円減少し、228億74百万円となりました。これは主として、自己株式が増加したことに加え、資本剰余金が減少したことによるものであります。

2 売上高 (単位：百万円)



POINT
主として前期末でプール大型案件が一服したことにより、環境・水処理関連事業における売上高が減少した結果、売上高は134億24百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

3 営業利益 (単位：百万円)



POINT
環境・水処理関連事業では不採算だった大型案件がなくなり営業損失の計上額は改善したものの、他事業での人件費や製造費の上昇、減価償却費の増加により、営業利益は2億82百万円(前年同期比18.3%減)となりました。

商号 日本フィルコン株式会社
本店所在地 東京都稲城市大丸2220番地
TEL 042 (377) 5711(代表) FAX 042 (377) 5714
設立年月日 1936年3月18日(創業1916年)
資本金 26億85百万円
上場取引所 東京証券取引所(スタンダード市場)
ホームページ <https://www.filcon.co.jp/>

主要な製造、販売品目

紙・パルプ抄造用網、各種工業用特殊網等／エッチング加工製品、フォトマスク製品等／プール本体および水処理装置、その他環境関連製品等／店舗・駐車場の賃貸等

主要な事業所等

当社の主要な事業所
本社・東京事業所(東京都稲城市) 静岡事業所(静岡県富士市)
北海道営業所(北海道千歳市) 大阪営業所(大阪府大阪市)
上海事務所(中国 上海市)

子会社
Filcon America, Inc. (アメリカ オレゴン州)
FILCON FABRICS & TECHNOLOGY CO., LTD. (タイ プラチンブリ県)
FILCON EUROPE SARL (フランス パ・ラン県)
斉藤特殊金網株式会社(本社：東京都稲城市)
関西金網株式会社(本社：大阪府大阪市)
Siam Wire Netting Co., Ltd. (タイ ランプーン県)
TMA CORPORATION PTY LTD (オーストラリア 西オーストラリア州)
関西金属網科技(昆山)有限公司(中国 江蘇省)
エスデアイ・エレクトロニクス・ジャパン株式会社(本社：東京都稲城市)
株式会社アクアプロダクト(本社：東京都稲城市)

当社従業員数477名 企業グループ従業員数1,308名

取締役

代表取締役社長	名倉 宏之	社外取締役	阿部 稔
専務取締役	齋藤 芳治	社外取締役	伊能 優子
常務取締役	佐野 明宣	取締役(常勤監査等委員)	青木 豊
常務取締役	野村 国大	社外取締役(監査等委員)	佐々木 章浩
取締役	久慈 健仁	社外取締役(監査等委員)	木村 尚子

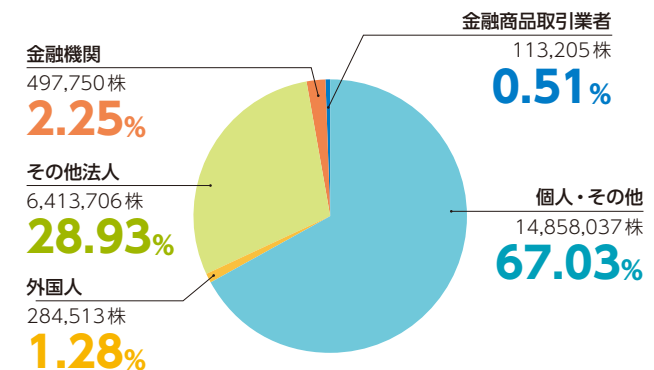
発行可能株式総数	80,000,000 株
発行済株式の総数	22,167,211 株
株主数	24,741 名

大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
王子ホールディングス株式会社	27,001	13.85
大王製紙株式会社	18,165	9.31
日本フィルコングループ従業員持株会	15,402	7.90
日本製紙株式会社	11,065	5.67
日本フェルト株式会社	3,000	1.54
竹田昌弘	2,525	1.29
明治安田生命保険相互会社	2,004	1.03
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,820	0.93
名倉宏之	1,345	0.69
東京海上日動火災保険株式会社	1,110	0.57

(注) 1. 当社は、自己株式2,666,395株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
3. 持株数は百株未満は切り捨て、持株比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

所有者別持株比率



株主メモ

事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
配当金の基準日	期末配当金: 11月30日 中間配当金: 5月31日
定時株主総会	毎年2月
議決権の基準日	定時株主総会: 11月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により、当社のホームページ https://www.filcon.co.jp/ に掲載いたします。ただし、 電子公告によることができない事故その他やむを得ない 事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関するお問合せ先

証券会社に口座をお持ちの場合

お問合せ先	お取引の証券会社になります。
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、株主名簿管理人までお問合せください。

特別口座の場合

お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
ご注意	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。(特別口座に記録したままでは、株式を証券取引所で売買することはできません。)

